

式辞

咲き満ちてこぼれ落ちる正門の桜の花。散り敷くその花びらに応えるかのように、今度は和みの庭で、可愛らしいパンジーやビオラが色とりどりに咲きはじめています。うららかな春。新しい出会いの季節ときです。

新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催が危ぶまれ不安な思いでいらつしやったと思いますが、保護者の方にご出席頂き、令和二年度京都光華高等学校の入学式を挙行できますこと教職員一同厚く御礼申し上げます。

ただいま京都光華高等学校百四十三名の新入生の入学を許可いたしました。学校を代表して式辞を述べさせていただきます。

新入生の皆さん 「ご入学おめでとうございます。」
心よりお祝いし、お迎え申しあげます。

皆さんは、ただいまより京都光華高等学校の生徒となりました。

三月から続く学校休校の中、様々な思いが皆さんの胸をよぎったことと思います。現在、世界的な状況を見ると、私たちは、十分に警戒をしながら、この長期戦を乗り越えていかなければならないという、苦しいところに来ていると思います。本校も、極力集団を分散させる方法を取りながら、十分な学習時間を確保していきたくないと準備していましたが、ゴールデンウィーク明けまで休校という措置を決定しなければならぬところまで状況は悪化しております。しかし、現在はまず、自身の命を守ること、周囲の方の命を守ることが先決となります。皆さんは今日から京都光華の生徒です。先生方とともに、何とかこの難局を乗り越えていきたくと思います。ご協力ください。

新型コロナウイルスの脅威が、全世界を覆いつくそうとしている状況の中、痛感したことがあります。それは、現代の高校生に

必要とする教育の中身です。与える者、指示をする者がいつも傍にいたとは限らない状況の中で、自分のすべきことを考え、実行に移すという行動力つまり自律心を身につける教育こそが必要とされているということです。

京都光華は、対話型授業、体験型授業、大学や企業と連携した文理融合型の探究学習を通し、生徒達がワクワク・ドキドキしながら学べる教育を用意することで、自ら学ぶ意欲や姿勢を持ち、どのような環境におかれても希望と展望とをもつて、周囲とともに解決策を考え、行動できる人財を育てています。今こそ、京都光華の教育力を結集し、社会の宝となる人財を育てていかなければならないと思います。

長い人生の最も多感な時期、学ぶ環境はとても重要です。京都光華は、未来を生きるあなた方に最良の教育を極めたいと考えています。

二〇二〇年、京都光華は創立八十周年を迎えます。本校は、現在の天皇の大叔母様にあたられる、東本願寺大谷智子おおたにさとこ御裏方が、仏教精神による女子教育を京都に具現せんと創立

された学校です。また、御裏方おうらかたが校名を「光華」と定めたその理由は、清澄せいじやうにして光り輝くおらかな女性を育成したいという願いに基づいたものです。

そして、校訓は「真実心」。真実心とはみ仏の心。つまり、慈悲の心を意味します。私たち人間は、その仏様の心に触れること、あまねくこの世を照らす光に照らされていることに気づくことが大切であると親鸞しんらん聖人は仰っています。

私達は目にはみえないたくさんの方の糸で支えられ生きています。仏様のやさしいまなざしや呼びかけは、あなた方に感謝の心と大いなる存在に対する畏敬の念を抱くという謙虚さを与え、またそれは、保護者の方々の愛情、友人や先輩後輩、先生方との絆となり、あなた方を強くしつかりと立たせる根っこにつながります。生きるということは多くのものに支えられてこそできることなのです。京都光華での宗教行事や、学びの中で、見えないものを感じる心と真実とを見定める知恵の眼を徐々に身につけて欲しいと願っています。

また、あなたただけでなく、今日から京都光華でご縁を頂い

たお隣の方も、見えないものによって生かされていることを、理解し、互いの存在を大切にしたい、何かあっても「お互い様」の心を持ってこれからの学校生活を過ごして欲しいと思います。学校は学びの場であると同時に、出会いの場でもあります。ここで育んだ友人関係は一生の宝物となります。新入生の皆さんにも良い友人関係を築いて頂きたいと思いません。

結びにあたり、保護者の皆様に一言お祝い申し上げます。お嬢様のご入学まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

大人と子どもとがせめぎあう思春期は、保護者の方から見ますと、危なげに見えることもあり、時にはご不安も生じることがありますが、暫くは、遠くからそつと見守っていただくことも必要かと思えます。子どもたちが時には悩み、苦しみながらも前向きに進もうとする、このような時期にこそ、保護者と学校とが強く手を繋ぎ、ともに温かいまなざしで心と

目をかけることが大切です。ご協力よろしくお願い申し上げます。

今、まさに、京都光華という新しい世界に飛び込もうとするあなたが、三年後には、個性豊かなそれぞれの華を咲かせるよう願います。このような状況下ではありますが、焦らず、無理をせず、一步一步、しっかりと前を向いて、共に歩んでいきましょう。

みなさんの限りない成長を願って式辞といたします。

令和二年四月七日

京都光華高等学校 校長 須原理都子